

対象農用地	農業用施設				■ 農地維持
[農地維持] 150 ha	開水路	パイプライン	農道	ため池	■ 資源向上 (農村環境保全活動まで)
[資源向上] 150 ha	27.4 km	19.9 km	35.7 km	7 箇所	■ 資源向上 (多面的機能の増進)
農業者 約	250 名	活動開始年度	平成 19 年度	活動	11 年目
農業者以外の 構成団体	自治会(大網・大古沢・駒場・日向・日向内・仲通・長沢・大久保・花園・東組・茅生・横関・新渡戸・古山) 第1・5水利組合、消防団第46分団、子供会(仲通・大網・東花・新渡戸)、老人会(大上郷百寿会・大久保・東組)、駒場ほたるの会、上郷地域うまい米づくり研究会 他				
地域の概略	本地域は、笠間市の南部に位置し、北・西・南の三方を山に囲まれ、豊潤で清冽な水と良質な土壌に恵まれた農村地帯です。その大半は、県営ほ場整備事業岩間地区(昭和47～平成元)として整備された地域で、施設の老朽化や維持管理とともに、地域資源全体の環境悪化が懸念されている中、水利組合やそれぞれの集落等によって管理してきたところです。				

◆上半期の活動報告◆

各機場ポンプ点検修理



いつ:平成29年4月

区域内、各機場の点検を行い必要な修理改善をし、稲作栽培に備える準備した。

〈漏電等の電気系統を点検〉

いつ:平成29年4月

機場給水槽の点検結果による堆積土砂を取り出す作業を行う関係構成員。



〈土砂を入れたバケツを上げる様子〉



いつ:平成29年4月

農道等の交差部分の落差解消を行い、農業車両等が容易に移動できるようにした。

〈整地後、コンクリートを流す様〉

いつ:平成29年7月

農道等法面の雑草対策のためのカバープランツ(クラピア植栽)作業を地域の皆さんで行った。



〈防草シートを張る様子〉

◆今年から新しく取り組んだこと◆

鳥獣害防護柵の畑地への設置



水田と共に、畑地への被害が顕著になってきていることから、その対策として電気柵設置に取り組んだ。

◆今後の展望◆

活動エリアや集落数が広範囲のため、環境保全等は各地域での活動として行われてきましたが、地域全体を一体的に環境整備ができるよう、コミュニケーションを重視した体制づくりと後継者育成にも努めていく。

◆平成29年度下半期のスケジュール◆

10月	長寿命化等、施設の改善手続き
11月	交流事業の計画推進
11月～12月	長寿命化事業推進
12月	市役所報告会
12月	パイプライン清掃業務
1月	交流事業開催(どんと焼き)
2月	水路の補修工事
3月	地域内総点検